



フェイス

# フェイス ラボ

未来をつむぐ実験室



2013.3.24  
サンパール荒川

# 東北米沢からものづくりの心を伝えて



実行委員長 亀岡 博

野山はまだ、白雪におおわれたみちのく米沢から、春満開の東京「サンパール荒川」に米沢市民ミュージカル「伝国座」がやってきました。

ご存じのとおり米沢は、伊達政宗のふるさとであり、上杉謙信を藩祖とし、第二代上杉景勝・直江兼続主従に始まる上杉氏の城下町であります。上杉鷹山の産業振興は有名であり、現第十七代当主上杉邦憲氏も、七年の歳月をかけ、惑星イトカワから帰還した宇宙探査機はやブサの設計者の一人であります。米沢は上杉の心と、ものづくりを受け継ぎ、現在に至るまちであります。

この度は東京都荒川区当局のご好意により、山形大学工学部サテライトのある荒川区で、東京公演を実現できました。心から御礼申し上げます。

米沢初の市民ミュージカルは、平成二十二年の初公演以来、市内の全中学生や東京都のセッション杉並ホールでの開催、平成二十四年度は、山形大学工学部の学生と続き、この度の公演となりました。

このミュージカル「Faith 未来をつむぐ実験室」は明治から大正にかけて米沢高等工業学校(現山形大学工学部)の秦逸三教授が日本で初めての人造絹糸を発明するまでの実話をもとに構成したものです。出演のメンバーも、今まで以上の演技を披露してくれるでしょう。どうぞごゆっくりご鑑賞ください。

このたびの東京公演に際しての荒川区役所当局の多大なるご支援に感謝いたしますとともに、ご指導いただいた梶賀先生をはじめ、SCSミュージカル研究所やスタッフの方々には御礼申し上げます。

# 米沢の進取の精神を荒川区のみなさまへ



米沢市長 安部 三十郎

みなさま、よねざわ市民ミュージカル「フェイス〜未来をつむぐ実験室」へようこそおいでくださいました。有難うございます。この公演は山形大学工学部のサテライトがあるというご縁から、荒川区のご厚意によって催されるものです。西川太一郎区長をはじめ、全ての荒川区民のみなさまに深く感謝申し上げます。

昭和三年、米沢繊維業界はたて糸に人絹、よこ糸に本絹を用いた白生地「みつほ絹」（みづほと発音）を生み出しましたが、わが国の繊維業界では画期的なことでした。染め加工を経てプレザン錦紗きんしや、コーラン錦紗、みつほ錦紗などの商品名で売られ、大ヒットしました。

そして昭和五年、プレゼン錦紗の販売元である京都の商店が、わが国初のコマージュルソングを作りました。それが物語のおしまいの方で歌われる「プレゼン行進曲」です。昔の歌なので歌詞が解りづらい難はあるものの、華やかさと力強さに溢れていて、舞台上に歌い手が登場しただけでもう心を奪われてしまいます。実際にレコード吹き込みしたのは当時人気絶頂の歌手佐藤千夜子（山形県天童市出身）です。ちなみに昭和五十二年放送のNHK朝の連続ドラマ「いちばん星」で主役の千夜子を演じたのが、米沢の「おしよしな観光大使」五大路子さんというのも不思議な縁です。

伝統の技術に新生の技術を組み合わせて、これまでになかったものを世に出したという点に、伊達政宗の欧州交易計画、上杉鷹山の米沢織創始などを源流とする米沢の進取の精神がうかがえます。このミュージカルがみなさまを勇気づけ、さらには米沢や山形大学工学部の素晴らしさに気付いていただけましたら幸いです。

米沢市上杉博物館 常設・企画展 割引券 (H26.3.31まで)

フェイス  
Faith

米沢市の名産品を  
抽選でプレゼント!



抽選券

001155

小野川温泉 “河鹿荘” 提供  
ペア宿泊券…1組様

米沢味のABC

Apple たてやまりんご (菓子) …5名様

Beef 米沢牛400g…2名様

Carp 鯉の甘煮…2名様

お米(つや姫)3合…100名様

米の食味ランキング特A受賞 1合…100名様

FAITH・・・それは信念、そして信頼。

フェイス・・・それは米沢の地に受け継がれている大切なもの。

大正時代の米沢にあつて、人絹の発明に命をかけた科学者

— 秦逸三 —  
はた いっ ぞう

— 挑戦のストーリー! —

作・演出・振付 梶賀千鶴子



# フェイス Faitiwa



深い雪の中、マントを羽織って歩いているまちのひとりたち。学校へ急ぐ学生の列。その列のなか、ひとりの青年がこちらを振り向く…。

二十四歳のノブヨシは両親が米沢の出身。米国で自分探しの旅をしていると、親から一本の電話。両親の勧めのまま帰国し、彼にとっては未知の世界である米沢の小学校補助教員として、その学校のしゃくなげクラスで働くことになりました。ある日の課外授業で、ノブヨシは生徒たちを連れて山大工学部の展示室に出かけます。そこで先人たちが学んだ教室、机、椅子に触れるノブヨシと一行。するといつしかカーテンの隙間から西陽が差し、その光の中から、白猿、オオタカ、巨大な鯉が現れます。気がつくとも一行は遊覧船(タイムマシーン)に乗り込んでいたのです。

遊覧船の中、そこは秦逸三の実験室。大正時代の米沢。三つの生き物に導かれ、ノブヨシと生徒たちの冒険がはじまります。大正時代と現代の米沢をタイムスリップしながら、「テイジン」創業者のひとりだった、秦逸三教授の姿を浮き彫りにしていきます。

3/24 14:00~16:00